

今回は山崎正志先生の企画で“腰椎分離症一病態・診断・治療”という、この領域のすべてをカバーする特集でした。CT、MRIの進歩で病態解析や診断が進み、患者さんに応じた治療法が開発されてきたことにより、初めて腰椎分離症に特化した特集が組まれたと考えております。

原著として通用するような自施設の詳細なまとめや、画像のレビューなど、この分野に絞っての初めての特集にふさわしい、力作揃いの特集となっています。

今年はコロナ禍によりとても長く感じられた1年でした。多くの学会がweb開催となり、日常の会議もweb開催となり、あえて動かないとずっと椅子に座っているという毎日でした。脊椎脊髄ジャーナルの編集委員としては、この影響がどのように脊椎脊髄のヘルスケアに関わってくるのかの研究も必要なのではと思えるほどです。

新たな医学知識の取得の場としての学会がwebに移行してくると、雑誌のあり方もさらに問われるようになります。いつでも見られる学会のオンデマンドコンテンツと、雑誌の内容はあまり違いがないかも知れません。なおいっそうの企画のよさ、ユニークさ、原稿の質の高さと、査読の精密さなどが求められるようになると思われまふ。

編集会議で整形外科と脳神経外科の先生方の丁々発止のお話はやはり現場でなければ味わえないスリルと臨場感であったと思います。コロナ禍が終わり、またオンラインでの会議が始まることを願っています。

さて、私事となりますが、2020年春に日本磁気共鳴医学会と日本医学放射線学会の理事長を務めることとなり、楽しみとしていた編集委員会すら出られなくなったことから、このたび編集委員を辞し、画像関連は東邦大学放射線科の堀正明教授にお願いすることとなりました。オンラインの編集会議では最初は慶應の戸山先生、慈恵の阿部先生といった重鎮と同席するだけで緊張し、その後も金先生の辛口のコメントを徳橋先生が受け流すさまなどを拝見する機会を得、雑誌の編集でもMR学会の編集委員長と時期が重なったこともあり、長年大変貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。今後ともこの分野に放射線科医、MR学会員が貢献できるように、今まで私のような者を引き立てていただいたご恩を少しでもお返しできるよう絆を維持し深めていくように努力していくつもりです。今後とも放射線専門医や技師をどうぞよろしく願ひいたします。(青木茂樹)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 高橋 昭 金田清志
小山素磨 小柳知彦 田代邦雄
国分正一 服部孝道

編集委員

山崎正志 (編集委員長)
金 彪 (副編集委員長)
青木茂樹 亀山 隆 園生雅弘
高橋敏行 谷 論 筑田博隆
永島英樹 中村雅也 根尾昌志
原 政人 飛驒一利 松山幸弘

Vol. 34 No. 1
(2020年12月25日発行)

毎月1回25日発行

1部定価 (本体2,500円+税)

(配送料別)

年ごめ予約購読料 33,300円+税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2021.

Printed in Japan

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。